



KYOTO
COLLEGE OF NURSING

2022 年度 授業概要（4 年次）



学校法人 京都育英館

京都看護大学

目次

医学・看護英語リーディング	1
医学・看護英語語彙	2
死生学	3
生涯学習論	4
法からみる医療	5
経済からみる医療	6
家族とジェンダー	7
代替療法と癒し	8
看護政策論	9
保健統計学	10
関係法規	11
社会資源コーディネート論	12
臨床実践と看護理論	13
看護教育論	14
看護管理・経営論	15
看護キャリア開発論	16
医療安全	17
災害看護論	18
災害看護技術演習	19
国際看護論	20
看護技術強化演習	21
課題探求実習	22
総合実習	22
課題探求Ⅰ	23
課題探求Ⅱ	24

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
医学・看護英語リーディング		BNNBS7E10	10207	4前	2(15)	必修
担当教員	高橋詩子					
概要	長引くCovid19のパンデミックの中、緊迫した医療現場の様子が連日報道されている。最後の砦である病院で医療従事者の役割はますます重要になっている。近い将来迎えるであろう国際国家としての日本の医療現場では、医療技術に加え言語能力が必須となる。さあ、病院という舞台を想定してネイティブの使う英語でコミュニケーションしてみよう。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な医療用語に慣れる。 ・外国人患者に、適切に迅速に正確に対応できる。 ・外国人患者を心身共に支えることができる。 ・スピーキングの礎である作文能力を養う。 					
関連科目	医学・看護英語語彙					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価		評価に対するフィードバック方法	
	授業参画	30%	毎回の単語、リスニング、作文テストを30点満点で評価		毎回の小テストで個別に指示	
	定期試験	70%	作文能力(30%) 読解力(20%) 語彙力(10%) 口語表現力(10%)			
DPとの対応	知をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践	◎
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	ガイダンス(授業の進め方) / Unit 1: Asking Basic Questions (1)			特に無し		予習0.5時間 復習0.5時間
2	Unit 2: A patient's First Visit (1)			前回到指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習0.5時間 復習0.5時間
3	Unit 2: A patient's First Visit (2)			前回到指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習0.5時間 復習0.5時間
4	Unit 3: Where's Internal Medicine? (1)			前回到指定した単語と英文を作る練習		予習0.5時間 復習0.5時間
5	Unit 3: Where's Internal Medicine? (2)			前回到指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習0.5時間 復習0.5時間
6	Review Units 1~3 / Reading " Good Health" ⑨ The Effect of La			前回到指定した単語と口語表現		予習0.5時間 復習0.5時間
7	Unit 4: Admission to the Hospital (1)			前回到指定した単語と英文を作る練習		予習0.5時間 復習0.5時間
8	Unit 4: Admission to the Hospital (2)			前回到指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習0.5時間 復習0.5時間
9	Unit 5: Giving Information (1)			前回到指定した単語と英文を作る練習		予習0.5時間 復習0.5時間
10	Unit 5: Giving Information (2)			前回到指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習0.5時間 復習0.5時間
11	Unit 6: Symptoms (1)			前回到指定した単語と英文を作る練習		予習0.5時間 復習0.5時間
12	Unit 6: Symptoms (2)			前回到指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習0.5時間 復習0.5時間
13	Unit 6: Symptoms (3)			前回到指定した単語と英文を作る練習		予習0.5時間 復習0.5時間
14	Review Units 4~6 / Reading " Good Health" ⑩ How to Enjoy			前回到指定した単語と口語表現		予習0.5時間 復習0.5時間
15	総復習			指定した単語と熟語 口語表現		予習0.5時間 復習0.5時間
使用テキスト	「Speaking of Nursing」南雲堂 「 Good Health」南雲堂					
参考図書	適宜紹介					
教員に対する質問方法	教務部アドレス [kyoumubu@kyotokango.ac.jp]					

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
医学・看護英語語彙		BNNBS8E11	10208	4後	1(15)	選択
担当教員	高橋詩子					
概要	長引くCovid19のパンデミックの中、緊迫した医療現場の様子が連日報道されている。最後の砦である病院で医療従事者の役割はますます重要になっている。近い将来迎えるであろう国際国家としての日本の医療現場では、医療技術に加え言語能力が必須となる。さあ、病院という舞台を想定してネイティブの使う英語でコミュニケーションしてみよう。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な医療用語に慣れる。 ・外国人患者に、適切に迅速に正確に対応できる。 ・外国人患者を心身共に支えることができる。 ・スピーキングの礎である作文能力を養う。 					
関連科目	医学看護英語リーディング					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対しての評価		評価に対するフィードバック方法	
	授業参画	30%	毎回の単語、リスニング、作文テストを30点満点で評価		毎回の小テストで個別に指示	
	定期試験	70%	作文能力(30%) 読解力(20%) 語彙力(10%) 口語表現力(10%)			
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践	◎
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	Unit 7:Injuries and Emergencies (1)			特に無し		予習0.5時間 復習0.5時間
2	Unit 7:Injuries and Emergencies (2)			前回に指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習0.5時間 復習0.5時間
3	Unit 7:Injuries and Emergencies (3)			前回に指定した単語と英文を作る練習		予習0.5時間 復習0.5時間
4	Unit 8: How are You Feeling? (1)			前回に指定した単語と英文を作る練習		予習0.5時間 復習0.5時間
5	Unit 8: How are You Feeling? (2)			前回に指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習0.5時間 復習0.5時間
6	Unit 9:A Patient's Medical History (1)			前回に指定した単語と英文を作る練習		予習0.5時間 復習0.5時間
7	Unit 9:A Patient's Medical History (2)			前回に指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習0.5時間 復習0.5時間
8	Unit 9:A Patient's Medical History (3)			前回に指定した単語と英文を作る練習		予習0.5時間 復習0.5時間
9	Review Unit 7~9 / Reading " Good Health" (23) Mental Health			前回に指定した単語と英文を作る練習		予習0.5時間 復習0.5時間
10	Unit 10:Medicine (1)			前回に指定した単語とスピーキング練習		予習0.5時間 復習0.5時間
11	Unit 10:Medicine (2)			前回に指定した単語と英文を聞き取り答える練習		予習0.5時間 復習0.5時間
12	Unit 10:Medicine (3)			前回に指定した単語と英文を作る練習		予習0.5時間 復習0.5時間
13	Unit 12:Congratulations! You're Having a Baby Girl p.104-105			前回に指定した単語と英文を作る練習		予習0.5時間 復習0.5時間
14	Reading " Good Health" (33) Heart Transplant / (39) Plasticity in Brain Development			前回に指定した単語とスピーキング練習		予習0.5時間 復習0.5時間
15	総復習			指定した単語、構文、口語表現の復習		予習0.5時間 復習0.5時間
使用テキスト	「Speaking of Nursing」南雲堂 「 Good Health」南雲堂					
参考図書	適宜紹介					
教員に対する質問方法	教務部アドレス [kyoumubu@kyotokango.ac.jp]					

授業科目	教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択	
死生学	BNNBS7L16	10302	4前	2(30)	選択	
担当教員	佐藤 泰子					
概要	「生」と「死」についての不断の追究が求められる職業につく以上、死生学へのアプローチは不可欠となる。死生に対峙する姿勢の根本になるものが医療者自身の死生観である。死生観の基盤になっている民俗的、歴史的、宗教的、倫理学的思想を概観しながら、科学、医学発展の途上で露わになってきた死生に関わる諸問題について議論することで自身の死生観を捉えてほしい。将来、生命倫理に纏わる問題に直面するとき、自分の行動選択や意思決定を支える枠組みを身につける一助となる授業を展開したい。					
到達目標	1) 死生に関わる諸問題について事例を通じて学び、問題の論点を説明できる。 2) 事例について倫理理論に基づいた論述ができる。 3) 自己の考えを言語化することができる。					
関連科目	哲学と倫理、生涯学習論					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対するの評価		評価に対するフィードバック方法	
	レポート	30%	死生に関わる自身の関心事について調査し考察できる 1)10% 2)10% 3)10%		コメントをメールで返却	
	授業参画	70%	授業毎のコメントで授業内容の理解度を確認する 1)40% 2)20% 3)10% (コメントはgoogle formsで提出 URLは別途周知)		次回の授業で提出コメントに対して返答、解説する	
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	○
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	死生学とは(なぜ死生学か 死生学と生命倫理)			生活のなかの「死」に関わる問題を意識しておく。		予習2時間 復習2時間
2	安楽死・尊厳死①(終末期医療と安楽死の歴史的背景)			学修内容について教科書を参考に予習・復習する。		予習2時間 復習2時間
3	安楽死・尊厳死②(安楽死の分類・事例)			学修内容について教科書を参考に予習・復習する。		予習2時間 復習2時間
4	安楽死・尊厳死③「尊厳死」という言葉はどこから			学修内容について教科書を参考に予習・復習する。		予習2時間 復習2時間
5	脳死・臓器移植①(臓器移植法の歴史的背景)			学修内容について教科書を参考に予習・復習する。 脳死・臓器移植に関する情報収集。		予習2時間 復習2時間
6	脳死・臓器移植②(脳死の要請とは)			学修内容について教科書を参考に予習・復習する。		予習2時間 復習2時間
7	生命倫理の視座から①(直観的善悪判断の限界と倫理理論)			学修内容について教科書を参考に予習する。 復習として功利主義的判断の事例を日常に探す。		予習2時間 復習2時間
8	生命倫理の視座から②(医療倫理のジレンマ)			学修内容について教科書を参考に予習・復習する。		予習2時間 復習2時間
9	人口妊娠中絶(優生保護法と人工妊娠中絶)			学修内容について教科書を参考に予習・復習する。 自身の考えをまとめておく。		予習2時間 復習2時間
10	出生前検査(あり方をめぐって・障がいと死生)			学修内容について教科書を参考に予習・復習する。		予習2時間 復習2時間
11	優生思想(ナチス・ドイツと優生学)			学修内容について教科書を参考に予習・復習する。 自身の考えをまとめておく。		予習2時間 復習2時間
12	患者差別①(精神医療史にみる精神障がいと死生)			学修内容について教科書を参考に予習・復習する。 自身の考えをまとめておく。		予習2時間 復習2時間
13	患者差別②(ハンセン病の歴史と死生)			学修内容について教科書を参考に予習・復習する。 ハンセン病に関する情報収集。		予習2時間 復習2時間
14	性的マイノリティー・被災者の死生			左記に関する情報に目を向けておく。		予習2時間 復習2時間
15	スピリチュアルペイン(生きる意味への問い)			学修内容について教科書を参考に予習・復習する。 授業全体を通して自身の考えをまとめておく。		予習2時間 復習2時間
使用テキスト	『死生の臨床人間学 ―「死」からはじまる「生」―』 晃洋書房 ISBN:978-4-7710-3484-6					
参考図書	適宜紹介する					
教員に対する質問方法	教務部アドレス(教務部:kyoumubu@kyotokango.ac.jp)					

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
生涯学習論		BNNBS8L19	10305	4後	2(30)	選択
担当教員	末澤 奈付子					
概要	「何人も、自らの権利を行使し、 自己実現を達成するために必要な知識、能力、技能、価値観を習得 していく。そのためにも、平等でインクルーシブな社会を実現し、貧困を克服し、公正、寛容、持続可能な社会を目指していく。生涯学習は、そうした社会活動を支援する。本授業では、そのような生涯学習の意義を理解し、各人の意見と共に他者に説明することが可能になることを目標としている。具体的には、社会における「学び」の現状、課題を把握し、「人間」が「社会」の中で「生活」する上での「学び」の必要性、重要性を確認し議論していく。					
到達目標	(1)生涯学習の意義を理解し、議論ができるようになる。 (2)「学び続ける自己」をイメージできるようにする。それを、自ら言語化できるようにする。 (3)看護師や対人援助の専門職と生涯学習の関連について意識できるようにする。					
関連科目	死生学、哲学と倫理					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対しての評価	評価に対するフィードバック方法		
	授業参画	70%		毎回のコメントシートにて		
	レポート	30%		返却時のコメントにて		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	
回	学修内容	予習・復習内容			取組時間	
1	オリエンテーション・人間における学びとは？	自分自身の今までの学びについて3分程度で口頭で発表できるように用意する。			予習2時間 復習2時間	
2	生活における学び、幼少期、青年期、老年期における学び等、世代ごとの学びの場についての考察	前回の授業で教員が提示したトピックについて調べ、自らの意見と共に、発表できるように用意する。			予習2時間 復習2時間	
3	生涯発達と生涯学習の関連性について	前回の授業で教員が提示したトピックについて調べ、自らの意見と共に、発表できるように用意する。			予習2時間 復習2時間	
4	海外の生涯学習の事例	前回の授業で教員が提示したトピックについて調べ、自らの意見と共に、発表できるように用意する。			予習2時間 復習2時間	
5	社会状況と学びの変遷①	前回の授業で教員が提示したトピックについて調べ、自らの意見と共に、発表できるように用意する。			予習2時間 復習2時間	
6	社会状況と学びの変遷②	前回の授業で教員が提示したトピックについて調べ、自らの意見と共に、発表できるように用意する。			予習2時間 復習2時間	
7	生涯学習とジェンダー教育①	前回の授業で教員が提示したトピックについて調べ、自らの意見と共に、発表できるように用意する。			予習2時間 復習2時間	
8	生涯学習とジェンダー教育②	前回の授業で教員が提示したトピックについて調べ、自らの意見と共に、発表できるように用意する。			予習2時間 復習2時間	
9	生涯学習とジェンダー教育③	前回の授業で教員が提示したトピックについて調べ、自らの意見と共に、発表できるように用意する。			予習2時間 復習2時間	
10	生涯学習と市民社会(ボランティア活動について知る)	前回の授業で教員が提示したトピックについて調べ、自らの意見と共に、発表できるように用意する。			予習2時間 復習2時間	
11	生涯学習と市民社会(ボランティア活動について知る)	前回の授業で教員が提示したトピックについて調べ、自らの意見と共に、発表できるように用意する。			予習2時間 復習2時間	
12	ボランティアと生涯学習の関連について考える	前回の授業で教員が提示したトピックについて調べ、自らの意見と共に、発表できるように用意する。			予習2時間 復習2時間	
13	社会正義を伝える教育の実践①	前回の授業で教員が提示したトピックについて調べ、自らの意見と共に、発表できるように用意する。			予習2時間 復習2時間	
14	社会正義を伝える教育の実践②	前回の授業で教員が提示したトピックについて調べ、自らの意見と共に、発表できるように用意する。			予習2時間 復習2時間	
15	全授業のまとめ、振り返り				予習2時間 復習2時間	
使用テキスト	なし					
参考図書	笹井宏益・中村馨香(2013)『生涯学習のイノベーション』玉川大学出版部。					
教員に対する質問方法	教務部アドレス(教務部:kyoumubu@kyotokango.ac.jp)					

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
法からみる医療		BNNBS7L21	10401	4前	2(30)	選択
担当教員	須永知彦					
概要	看護の実施には法も深く関係する。法は行動の制約要因であるが、それだけでなく、 医療従事者と患者の間の適切な関係の構築 を手助けし、より良い医療・より良い看護を実現していく社会的な仕組みでもある。この法について、法とは何か、法の領域では物事はどのように考えられているのか(法的思考)、法の観点から医療・看護を見るときにポイントになるのはどのような点かを学ぶことによって、法的な観点から看護活動を省みる素地を養う。また、医療・看護の観点から法を批判的に検討する可能性も認識する。このため、憲法、 刑法 、 民法 といった基本的な法の位置づけと概要を把握したあとで、医療・看護の場面でそれらの法が実際にどのように機能するのかを検討していく。					
到達目標	医療従事者としての職業倫理と人権擁護の姿勢を身に着けること、法的思考を通じて論理的思考の一助とすることが目標だが、より具体的には次のようなことを含む。 1)法の世界の基本的な概念の理解の上にたち、それらの相互関係を法的思考に基づいて(医療の観点も加味しながら)説明することができる。 2)医療・看護に関する主要な判例の内容と位置づけを説明することができる。 3)以上で得られた法に関する知識と考え方を看護実践の具体的場面にあてはめ、あるべき行動を考え、説明することができる。 4)問題の社会的背景の理解をもとに、現行の法解釈や法制度の問題点を指摘し、政策的な観点を含めて改善策を論じることができる。					
関連科目	「現代社会の仕組み」「家族とジェンダー」と関連を有し、他に医療・看護と家族を扱う科目や、「社会福祉」など一部関連を有する。					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対しての評価		評価に対するフィードバック方法	
	小テスト	49	語句を答える問題や多肢選択問題に加えて、簡単な説明問題により 1)60%+2)40% 7点満点のテストを7回(授業2回ごとに1回)実施する。		採点済み答案の返却、解答例・解説の配布、授業での解説	
	定期試験	51	記述問題を中心として、2)40%+3)40%+4)20%		解答例と簡単な解説の配布	
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	○	全人的人間理解	○	職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	
回	学修内容		予習・復習内容			取組時間
1	以下、各回において、「」で掲げる題目について教員からの説明、重要事項や判例・文献の内容に関する質疑応答、簡単な討論を行う。 「医療にとっての法の意味」		予習:事前に配布する講義資料、各回に「」で掲げる判例・文献を購読する。予習を前提にして授業を進める。 復習:各回に「」で掲げる判例・文献について、授業内容をふまえて、講義資料とテキストの関係箇所も参照しながら、担当教員の提示する質問に答えられるように読み直す。復習が行われているかは、一部を小テストで、最終的には定期試験で確認する。 「テキスト第1講、第6講」			予習2時間 復習2時間
2	「法の世界の見取り図:公法と私法、法と裁判」		「隣人訴訟事件に関する文献」			予習2時間 復習2時間
3	「憲法と法律:医療・看護・健康と基本的人権」		「幸福追求権に関する文献」			予習2時間 復習2時間
4	「刑事法の基礎:犯罪と刑罰」構成要件・違法性・有責性と刑罰の意味		「テキスト第2講、第6講」「医療行為と違法性阻却に関する文献」			予習2時間 復習2時間
5	「民事法の基礎(1):不法行為」様々な事故の処理としての損害賠償等		「認知症高齢者の起した事故と家族の責任に関する判例」			予習2時間 復習2時間
6	「民事法の基礎(2):契約」契約による関係形成の意味		「契約の解釈と拘束力に関する文献(判例を含む)」			予習2時間 復習2時間
7	「民事法の基礎(3):家族関係」婚姻と親子そして親族		「テキスト第16講」「親子関係に関する判例」			予習2時間 復習2時間
8	「民事法の基礎(4):法的人格と成年後見制度」権利能力・意思能力・行為能力と成年後見制度		「成年貢献関係事件の概況」(裁判所ホームページより、最新のもの)			予習2時間 復習2時間
9	「民事法の基礎(5):成年後見制度(つづき)」成年後見制度の運用状況と課題		「成年貢献関係事件の概況」(裁判所ホームページより、最新のもの)			予習2時間 復習2時間
10	「医療と法(1):契約としての医療」(第6回の応用)		「テキスト第5講、第6講」「神戸診療拒否事件判例」			予習2時間 復習2時間
11	「医療と法(2):説明と自己決定」(第5回・第6回の応用)		「テキスト第4講」「乳房温存療法事件判例と関連文献」			予習2時間 復習2時間
12	「医療と法(3):医療事故その1:過失の判断構造」(第4回・第5回の応用)		「テキスト第8~9講」「未熟児網膜症事件判例」			予習2時間 復習2時間

13	「医療と法(4):医療事故その2:因果関係、医療事故調査制度」(第4回・第5回の応用)	「テキスト第8～10講」「ルンバール事件判例」「医療事故調査制度の資料」	予習2時間 復習2時間
14	「医療と法(5):生殖医療と法」(第7回の応用)	「テキスト第16講」「代理母問題や凍結受精卵に関する判例」	予習2時間 復習2時間
15	「医療と法(6):終末期医療と法」(第3回・第4回の応用)「まとめ」	「テキスト第12～14講」「東海大学病院事件判例と関連資料」 まとめとして「テキスト第1講、第2講、第6講、第10講」	予習2時間 復習2時間
使用 テキスト	甲斐克則(編著)「ブリッジブック医事法〔第2版〕」(信山社・2018年)		
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・手嶋豊「医事法入門〔第5版〕」(有斐閣・2018年) ・テキストを補う判例・文献資料は都度事前に配布する。 		
教員に対する 質問方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の前後は準備と片付けも兼ねて教室にいます。 ・メールアドレスは:sunaga@biwako.shiga-u.ac.jp 		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
経済からみる医療		BNNBS7L22	10402	4前	2(30)	選択
担当教員	奥野 琢也、瀬川 裕美、長野 広之、森下 哲司、吉開 恵、本田 雄大、肥田 勲、前田 佑希子					
概要	本講義では、 医療保険制度、財政、医療経済評価等 の基礎的な知識を身につけ、看護師として 医療経済的な視点 から 社会 について考える力を養う。					
到達目標	【目的】 基礎的な医療経済学の知識を学修し、様々な問題に対する医療経済学的な見方を説明できる。 【目標】 1) 医療経済学に関する基礎的な知識を説明できる。 2) 医療現場や政策等の様々な問題に関して医療経済学的に論じる。					
関連科目	法からみる医療、家族とジェンダー					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対するの評価	評価に対するフィードバック方法		
	授業参画	40				
	レポート	60		コメントを記述し返却		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	オリエンテーション 医療経済学とは・各講義のガイダンス(奥野)			【予習】病院やクリニックの経営がどのようにして成立しているのかを、インターネットで検索しておく		予習2時間 復習2時間
2	医療現場と医療経済 医療の質・正しさ(長野)			【予習】質の高い医療とは何かを考える		予習2時間 復習2時間
3	医療現場と医療経済 社会疫学とSDH(長野)			【予習】自身の健康を規定するものが何かを考える		予習2時間 復習2時間
4	日本の医療保険制度 概要とその歴史(本田)			医療保険とは何か調べておく		予習2時間 復習2時間
5	医療保険制度 医療と文化心理(瀬川)			【予習】何故、医療制度が各国で異なるのか理由を考えてみる。 【復習】日本の医療の特徴を、どのように紹介するのか自分なりの考えをまとめる。		予習2時間 復習2時間
6	医療経済評価 概要、測定方法、便益、効果、効用分析(奥野)			【予習】高価な医療技術/医薬品について、インターネットで調べておく。「健常者の健康」と「障害者の健康」は等しいか、を考えておく。 【復習】実習で学んだ看護の価値観と、本講義で学んだ価値観を比較する。		予習2時間 復習2時間
7	UHC:日本における医療提供地域格差(瀬川)			【予習】COVID19による緊急事態宣言は各都道府県ごとに異なるタイミングで発令された理由は何か、自分なりに考えてみる。 【復習】日本のUHCの課題は何か自分なりの考えを整理する。		予習2時間 復習2時間
8	UHC:世界の医療制度と医療格差(瀬川)			【予習】アブジャ宣言について自分なりに調べてから授業に参加する。 【復習】世界のUHC達成のために何が必要か自分なりの考えを整理する。		予習2時間 復習2時間
9	日本の医療財政(奥野)			【予習】日本の医療保険制度(4,5講)を復習する。そのうえで、日本の病院が黒字経営なのか、インターネットで調べる。		予習2時間 復習2時間
10	医療サービス市場の特徴(前田)			【予習】他の業種との違いを考えておく		予習2時間 復習2時間

11	医療情報の活用(肥田)	【予習】医療情報とはどこまでを言うか考えておく	予習2時間 復習2時間
12	仕事と健康(吉開)	【予習】仕事と健康の関わりについて考える。 【復習】講義で紹介されたキーワードを整理する。	予習2時間 復習2時間
13	行動経済学(森下)	【予習】他のなぜ人はダイエットに失敗するのか、その人間の心理について考えておく。	予習2時間 復習2時間
14	健康格差と社会格差(森下)	【予習】他の格差社会がなぜ健康に悪いのか考えておく。	予習2時間 復習2時間
15	日本の保険制度 介護保険制度と地域包括ケア(本田)	【予習】他の地域包括ケアシステムについて調べておく。	予習2時間 復習2時間
使用 テキスト	特になし。毎回、講義の際に資料を配布する。		
参考図書	適宜紹介する。		
教員に対する 質問方法	原則、配布資料に記載されているメールアドレスにご連絡ください。 その際、件名に【経済からみる医療】及び第何回目の講義に関する質問であるか、明記ください。教員より回答いたします。 特定の講義に関する質問でない場合は、前田(maeda.yukiko.35n@st.kyoto-u.ac.jp)までご連絡ください。		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
家族とジェンダー		BNNBS7L24	10404	4前	2(30)	選択
担当教員	平 英美	実務歴	無			
概要	家族 は、人類社会に普遍的な 社会集団 であると考えられているが、一方で家族ほど多様であり、歴史的変容の著しい集団も少ない。また、 ジェンダー 概念が導入されて以降、女性に対する見方が大きく変化してきている。授業では、ジェンダー論の視点から、家族や女性の現状とこれらについて考えていく。					
到達目標	1) ジェンダーという概念について自分なりの考え方を説明できる。 2) 現代家族が抱えるさまざまな問題について説明できる。 3) パートナーシップ制など、家族をめぐる新しい流れを説明できる。 4) 医療・看護をジェンダー論や家族論の視点から考えることができる。					
関連科目	現代社会のしくみ 母性看護学、小児看護学、高齢者支援論					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	レポート	50%	1)~4) 各12.5%			
	討議等	50%	1)~4) 各12.5%			
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	○	全人的人間理解	○	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	オリエンテーション…授業の進め方について					予習2時間 復習2時間
2	ジェンダー 性差をめぐって①問題提示とグループワーク			【予習】ジェンダー概念について調べる。 【復習】グループで調べたことをまとめる。		予習2時間 復習2時間
3	ジェンダー 性差をめぐって②発表と討議			【予習】提出用紙の作成準備 【復習】		予習2時間 復習2時間
4	ジェンダー 性的マイノリティ①問題提示とグループワーク			【予習】性的マイノリティについて調べる。 【復習】グループで調べたことをまとめる。		予習2時間 復習2時間
5	ジェンダー 性的マイノリティ②発表と討議			【予習】提出用紙の作成準備 【復習】		予習2時間 復習2時間
6	日本の家族史・前近代①問題提示とグループワーク			【予習】家族の歴史について調べる。 【復習】グループで調べたことをまとめる。		予習2時間 復習2時間
7	日本の家族史・前近代②発表と討議			【予習】提出用紙の作成準備 【復習】		予習2時間 復習2時間
8	近代家族の成立①問題提示とグループワーク			【予習】近代家族の成立過程を調べる。 【復習】グループで調べたことをまとめる。		予習2時間 復習2時間
9	近代家族の成立②発表と討議			【予習】提出用紙の作成準備 【復習】		予習2時間 復習2時間
10	家族問題 子どもと家族①問題提示とグループワーク			【予習】子どもと家族をめぐる社会問題について調べる。 【復習】グループで調べたことをまとめる。		予習2時間 復習2時間
11	家族問題 子どもと家族②発表と討議			【予習】提出用紙の作成準備 【復習】		予習2時間 復習2時間
12	家族問題 高齢者と家族①問題提示とグループワーク			【予習】高齢者と家族をめぐる問題について調べる。 【復習】グループで調べたことをまとめる。		予習2時間 復習2時間
13	家族問題 高齢者と家族②発表と討議			【予習】提出用紙の作成準備 【復習】		予習2時間 復習2時間
14	まとめ①			【予習】 【復習】		予習2時間 復習2時間
15	まとめ②			【予習】 【復習】レポート作成		予習2時間 復習2時間
使用テキスト	なし					
参考図書	授業時に紹介する。					
教員に対する質問方法	メール taira2@kyotokango.ac.jp(授業用) オフィスアワー 在校生HPを確認					

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
代替療法と癒し		BNNSB8E13	20206	4後	1(30)	選択
担当教員	◎田口 豊恵	実務歴	有	看護師として病院に13年勤務		
担当教員	中森 美季	実務歴	有	看護師として病院に5年勤務		
担当教員	米澤 慶子	実務歴	有	看護師として病院に5年・保健所に8年勤務		
担当教員	吉田 行宏	実務歴	有	鍼灸師として病院に勤務		
概要	患者のセルフケア促進や症状緩和を目的に、看護師の自律的な判断で行われる代表的な補完代替療法(光療法、ヒーリングタッチ、漢方、東洋医学、リンパマッサージ)について学び、ホリスティックなケアが内包する癒しの力について考える。また、講義で学んだ理論および基本技術を通して臨床応用の可能性について考究できる。					
到達目標	1. ブライトケアの目的と効果について説明できる。 2. ヒーリングタッチの目的と効果について説明できる。 3. 東洋医学の種類と効果について説明できる。 4. リンパ浮腫ケアの基本的な技術とその適応について説明できる。 5. 漢方の種類と効果について説明できる。 6. 代表的な補完代替療法を通して、臨床応用の可能性について考究する。					
関連科目	3年次の領域別実習科目全て					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対するの評価	評価に対するフィードバック方法		
	レポート	50%	到達目標6	レポートにコメントを記述して返却する		
	課題への参加(事前課題、事後課題)	50%	到達目標1~5:各10%	講義内にフィードバックする		
DPとの対応	智をいっくしむ力		人をいっくしむ力		命をいっくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解	○	職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践	◎
回	学修内容			予習内容(授業後に提出)・復習内容		取組時間
1	講義ガイダンス、サーカディアンリズムと睡眠の関係			【予習】補完代替療法、癒しの意味について調べる 【復習】自己の睡眠改善法を考えてまとめる		予習1時間 復習1時間
2	ブライトケアの実施と評価			【予習】予習:光とサーカディアンリズムの関係を調べる 【復習】復習:自己の生活リズムを振り返りまとめる		
3	ヒーリングタッチの概論			【予習】:ヒーリングタッチの歴史について調べる 【復習】:ヒーリングタッチの効果についてまとめる		予習1時間 復習1時間
4	ヒーリングタッチの実践と評価					
5	東洋医学的な概念と診察法			【予習】:陰陽五行、気血水について調べる 【復習】:東洋医学的な診察を用いて、調子のよい日と悪いの自分の状態についてまとめる		予習1時間 復習1時間
6	東洋医学的な治療法とその効果			【予習】:鍼灸の種類について調べる 【復習】:自分の症状とツボの関係についてまとめる		
7	漢方医学の歴史と基礎理論			【予習】:漢方医学の歴史について調べる 【復習】:漢方医学の基礎理論についてまとめる		予習1時間 復習1時間
8	四診と漢方フィジカルアセスメント 漢方薬の実例と服用方法 主な漢方薬と副作用			【予習】:四診とフィジカルアセスメントについて調べる 【復習】:漢方薬についてまとめ、時間内に提出する		
9	リンパ浮腫の概論			【予習】:浮腫とそのメカニズムについて調べる 【復習】:リンパ浮腫の特徴やメカニズムについてまとめる		予習0.5時間 復習0.5時間
10	リンパ浮腫の複合的治療の基本的な考え方と基本手技			【予習】:徒手リンパドレナージュについて調べる 【復習】:リンパ浮腫の複合的治療の基本的な考え方についてまとめる		予習1時間 復習1時間
11	徒手リンパドレナージュの基本手技の実践					
12	圧迫療法の基本的な考え方と基本手技					
13	圧迫療法の基本手技の実践			【予習】:圧迫療法について調べる 【復習】:圧迫療法の基本的な考え方についてまとめる		予習1.5時間 復習1.5時間
14	圧迫療法の基本手技の応用					
15	補完代替療法と看護			【予習】1~8講の復習、資料を確認する 【復習】補完代替療法の臨床応用についてまとめ、指定日に提出する		予習0.5時間 復習0.5時間
使用テキスト	テキストは使用しない					
参考図書	授業内で紹介する					
教員に対する質問方法	常勤:メールアドレス:田口豊恵 t_taguchi@kyotokango.ac.jp, 中森美季 m_nakamori@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認 非常勤:教務部アドレス(教務部:kyoumubu@kyotokango.ac.jp)					

授業科目	教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
看護政策論	BNSNB8L20	20401	4後	1(30)	必修
担当教員	◎ 堀井 とよみ	実務歴	有	保健師として行政に32年勤務	
担当教員	石井 敦子	実務歴	有	保健師として行政に10年勤務	
概要	近年、 保健・医療・福祉を統合したヘルスケアシステムが整備 され、看護職能の活動の対象や場が拡大してきている。このような社会情勢のなかで 質の高い看護活動 を提供するために、活動しやすい環境作りが求められ、その具体的方策としての看護政策の重要性を述べる事ができる。 看護政策の歴史的発展過程と看護職が抱える課題 を理解し、看護専門職として医療を支える法律や制度を踏まえて、 課題解決の具体的な解決方法 を挙げる事ができる。また、多様な職場において、 看護専門職としての役割とキャリアの方向性 を述べる事ができる。				
到達目標	1.看護政策の歴史的発展課程を説明できる。 2.地域包括ケアシステムにおける看護職の役割を述べる事ができる。 3.看護職の抱える課題と一般的解決策を述べる事ができる。 4.学生自身が実習中に体験してきた看護問題について、問題解決のための具体的な行動について討議し、解決策を述べる事ができる。				
関連科目	看護管理・経営論 看護キャリア開発論				
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価		評価に対するフィードバック方法
	定期試験(レポート)	40%	到達目標1 -10% 到達目標2 -10% 到達目標3 -10% 到達目標4 -10%		定期試験後に全体的な解説やポイントを掲示
	課題	40%	到達目標1 -10%(小レポート) 到達目標2 -10%(小レポート) 到達目標3 -10%(小レポート) 到達目標4 -10%(小レポート)		小レポート(コメントを記述し返却)
	授業への参画	20%	到達目標1 -5% 到達目標2 -5% 到達目標3 -5% 到達目標4 -5%		
DPとの対応	智をいっくむ力		人をいっくむ力		命をいっくむ力
	科学的論理的思考力		全人的人間理解		職業倫理と人権擁護
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践
回	学修内容(担当)			予習・復習内容	取組時間
1	看護政策を学ぶ意義、看護政策の理念、目的 (堀井)			(予習)提示した資料を読んで看護政策及び専門職の定義を理解 (復習)なぜ看護政策を学ばないといけないかをまとめる	1.5時間
2	看護政策の歴史 (堀井)			(予習)『看護六法』の看護制度の変遷の項を理解 (復習)看護制度が変化する時期に働きかけた組織・方法は何かをまとめる	1.5時間
3	実習期間中に体験した看護問題についてグループディスカッション(堀井)			(予習)実習記録を読み返し、看護を提供する上での問題を整理する (復習)実習期間中に体験した看護問題について小レポート作成	1.5時間
4	医療計画及び地域医療構想 (石井)			(予習)出身都道府県の医療計画と地域医療構想を調べ課題を整理する (復習)1970年代以降の医療施策についてまとめる	1.5時間
5	看護人材確保対策 (石井)			(予習)出身都道府県の看護人材確保対策を調べ課題を整理する (復習)社会の動向と看護人材確保対策についてまとめる	1.5時間
6	看護人材確保対策の課題についてグループディスカッション (石井)			(予習)今後の看護人材確保対策の課題を整理する (復習)グループディスカッションを踏まえた小レポート作成	1.5時間
7	日本の看護教育制度の歴史と課題 (石井)			(予習)テキスト「看護教育に関する政策」から看護教育を体系的に整理する (復習)看護教育制度の課題について述べられるようにまとめる	1.5時間
8	保健師助産師看護師法と看護資格制度 (石井)			(予習)テキスト「近年の保健師助産師看護師法の改正」を理解 (復習)日本の看護資格制度の特徴について述べられるようにまとめる	1.5時間
9	看護資格制度の課題についてグループディスカッション (石井)			(予習)看護資格制度の課題についてまとめる (復習)グループディスカッションを踏まえた小レポート作成	1.5時間
10	准看護師制度の歴史とその課題 (堀井)			(予習)テキスト「看護教育に関する政策」を理解 日本看護協会ホームページから准看護師制度関連情報を収集 (復習)准看護師の現状について述べられるようにまとめる	1.5時間
11	地域包括ケアシステムと看護職の役割 (堀井)			(予習)『地域包括ケア研究会報告書』を理解する(1時間) (復習)地域包括ケアシステムの看護職の役割が述べられるようにまとめる(0.5時間)	1.5時間
12	准看護師制度の課題と解決策についてグループディスカッション (堀井)			(予習)准看護師制度廃止について日本看護協会の活動の成果を理解する (復習)グループディスカッションを踏まえた小レポート作成	1.5時間
13	看護政策を推進するための看護職の行動について (堀井)			(予習)テキスト「看護制度と政策決定過程」を理解する (復習)身近な行政での政策決定過程をまとめる	1.5時間
14	看護政策のまとめと看護政策を実現するための行動 (堀井)			(予習)日本看護協会ホームページから政府への要望事項等関連情報を収集する (復習)看護政策提言のための看護職の行動の実情をまとめる	1.5時間
15	看護問題解決のための行動についてグループディスカッション (堀井)			(予習) 第3回的小レポートでまとめた看護問題の解決のために、 自らがとるべき行動について考える (復習)グループディスカッションを踏まえた小レポート作成	1.5時間
使用テキスト	井部俊子『看護管理学習テキスト 第3版第1巻ヘルスケアシステム論』最新版 日本看護協会出版会。 『地域包括ケア研究会報告書』 教員作成資料				
参考図書	『看護六法 最新版』新日本法規、『地域包括ケア研究会報告書』2014年3月及び最新版				
教員に対する質問方法	石井敦子:メールアドレス:a_jshii@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認 堀井とよみ:t_horii@kyotokango.ac.jp				

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
保健統計学		BNSNB7L22	20403	4前	1(30)	選択
担当教員	斎藤 真					
概要	看護学において 保健統計データ を的確に解釈をすること重要な技法です。本講義では、看護学分野におけるさまざまな情報を活用することを目的に、統計学の基礎とSPSSを用いた保健統計データの処理技法を学びます。本授業ではデータの特性に合わせて処理ができるように統計解析の考え方や得られた結果の解釈を学び、さらに科学的な思考ができるように導きます。					
到達目標	1. 統計学および保健統計学の基礎知識を理解し、説明できる。 2. 統計処理ソフトの操作を理解できる。 3. 保健データについて統計学に分析する手法を理解し、結果を説明できる。					
関連科目	情報リテラシー、暮らしの中の統計処理					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	筆記試験	100	60点以上	定期試験後に評価および解説を掲示		
DPとの対応	知をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	オリエンテーション(本講義の学び方) 統計学の基礎①(分布、パラメトリックとノンパラメトリック)			統計学の教科書や各自のノートの点検を行う		1時間
2	統計学の基礎②(代表値、ばらつき)			統計学の教科書で該当する部分を熟読する		1時間
3	統計学の基礎③(推定、検定)			統計学の教科書で該当する部分を熟読する		1時間
4	統計学の基礎④(代表値、ばらつき、推定、検定に関する問題演習)			2, 3回の授業を復習し、問題演習を行う。 USBメモリを持参すること。		1時間
5	SPSSを用いた保健統計①(SPSSの使い方について基本を学ぶ。)			テキストの該当部分を事前の予習、事後の復習を行う。		1時間
6	SPSSを用いた保健統計② (記述統計について模擬データを処理し、理解を深める。)			テキストの該当部分を事前の予習、事後の復習を行う。		1時間
7	SPSSを用いた保健統計③ (相関・回帰について模擬データを処理し、理解を深める。)			テキストの該当部分を事前の予習、事後の復習を行う。		1時間
8	SPSSを用いた保健統計④ (t検定について模擬データを処理し、理解を深める。)			テキストの該当部分を事前の予習、事後の復習を行う。		1時間
9	SPSSを用いた保健統計⑤ (t検定について模擬データを処理し、理解を深める。)			テキストの該当部分を事前の予習、事後の復習を行う。		1時間
10	SPSSを用いた保健統計⑥ (カイニ乗適合度の検定について模擬データを処理し、理解を深める。)			テキストの該当部分を事前の予習、事後の復習を行う。		1時間
11	SPSSを用いた保健統計⑦ (カイニ乗独立性の検定について模擬データを処理し、理解を深める。)			テキストの該当部分を事前の予習、事後の復習を行う。		1時間
12	SPSSを用いた保健統計⑧ (マンホイットニーのU検定、ウィルコクソンの符号付き順位検定について模擬データを処理し、理解を深める。)			テキストの該当部分を事前の予習、事後の復習を行う。		1時間
13	SPSSを用いた保健統計⑨ (一元配置法分散分析および多重比較について模擬データを処理し、理解を深める。)			テキストの該当部分を事前の予習、事後の復習を行う。		1時間
14	SPSSを用いた保健統計⑩ (3群以上のノンパラメトリック検定および多重比較について模擬データを処理し、理解を深める。)			テキストの該当部分を事前の予習、事後の復習を行う。		1時間
15	まとめ(SPSSを用いたデータの処理について総括する。)			統計学の教科書およびテキストの該当部分を事前の予習、事後の復習を行う。		1時間
使用テキスト	オリジナルテキスト(SPSS Tips2022、開校時に説明する。)					
参考図書	統計学で使用した教科書(教養のための統計入門、景山三平監修、実教出版)					
教員に対する質問方法	教務部アドレス(教務部:kyoumubu@kyotokango.ac.jp)					

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
関係法規		BNNSB7L23	20404	4前	1(30)	必修
担当教員	奥田 のり美	実務歴	有	看護師として病院に21年		
概要	看護職員にとって最も重要な法律である 保健師助産師看護師法及び看護師等の人材確保の促進に関する法律 について解説する。医療に関する法律である 医事法 、国民の健康の保持・増進を目的とする 保健衛生法、薬務法、社会保険法、福祉法 、そして労働条件と職場の安全衛生について定めた 労働基準法・労働安全衛生法 等の基礎知識を解説する。学修にあたっては、これらの法令を単に知識として学ぶだけではなく、なぜこのような内容になっているのか、看護との関係はどのようなのかについて、他の科目で学んだこと、あるいは日常生活や実習での経験、さらにテレビ・インターネット等からの情報とも関連づけて理解する。					
到達目標	1. 看護がどのような法律に準拠して行われているのか述べることができる。 2. 看護を取り巻く多職種の法律について説明できる。 3. 国民の健康の保持・増進を目的とする法律を述べることができる。 4. 社会福祉の基盤となる法律を述べることができる。 5. 労働者の健康を守る法律を説明できる。 6. 環境の保全と公害の防止に関する法律を挙げるができる。					
関連科目	看護政策論、社会資源コーディネイト論、社会福祉					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対するの評価	評価に対するフィードバック方法		
	定期試験	100%	到達目標1. 2-30% 到達目標3. 4-50% 到達目標5. 6-20%	定期試験レビューで説明		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	○
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	ガイダンス・法とは			【予習】 ①シラバスを読み何を学ぶのか考える。 ②テキストのはしがきを読み日本の現状を理解する。 【復習】 ①第1章 法の概念のゼミナール2. 3をまとめる。		予習0.5時間 復習0.5時間
2	看護法とは			【予習】 ①テキスト看護法A・Bを読む。 【復習】 ①第2章看護法のゼミナール1、4をまとめる。		予習0.5時間 復習0.5時間
3	医事法とは			【予習】 ①テキスト医事法A、B、Cを読む。 【復習】 ①第3章 医事法のゼミナール3、5をまとめる。		予習0.5時間 復習0.5時間
4	看護法。医事法の小テスト・解説 保健衛生法(共通保健法)			【予習】 ①テキスト保健衛生法Aを読む。 【復習】 ①小テストの見直し ②第4章 保健衛生法のゼミナール2をまとめる。		予習0.5時間 復習0.5時間
5	保健衛生法(分野別保健法・感染に関する法律)			【予習】 ①テキスト保健衛生法B・Cを読む。 【復習】 ①第4章 保健衛生法3～7のゼミナールをまとめる。		予習0.5時間 復習0.5時間
6	保健衛生法(食品に関する法等) 保健衛生法の小テスト			【予習】 ①テキスト保健衛生法D・Eを読む。 【復習】 ①小テスト見直し		予習0.5時間 復習0.5時間
7	薬務法(薬事一般に関する法律等)			【予習】 ①テキスト薬務法A・B・C・Dを読む。 【復習】 ①テキスト第5章 薬務法のゼミナール3～6をまとめる。		予習0.5時間 復習0.5時間
8	社会保険法(費用保障)			【予習】 ①テキスト社会保険Aを読む。 【復習】 ①テキスト第6章 社会保険のゼミナール1.2.3をまとめる。		予習0.5時間 復習0.5時間
9	社会保険法(年金等) 薬務法・社会保険法の小テスト・解説			【予習】 ①テキスト社会保険Bを読む。 【復習】 ①小テストの見直し		予習0.5時間 復習0.5時間

10	福祉法(福祉の基盤・児童分野)	【予習】 ①テキスト福祉の基盤A・Bを読む。 【復習】 ①生活保護法・児童福祉法についてまとめる。	予習0.5時間 復習0.5時間
11	福祉法(高齢分野・障害分野)	【予習】 ①テキスト福祉の基盤C・Dを読む。 【復習】 ①老人福祉法・障害者総合支援法についてまとめる。	予習0.5時間 復習0.5時間
12	福祉法の小テスト・解説 労働法と社会基盤整備	【予習】 ①テキスト労働法と社会基盤整備A・Bを読む。 【復習】 ①小テストの見直し ②労働基準法・労働安全衛生法についてまとめる。	予習0.5時間 復習0.5時間
13	環境法とは	【予習】 ①テキスト環境法A・B・Cを読む。 【復習】 ①環境法、大気汚染防止法についてまとめる。	予習0.5時間 復習0.5時間
14	最新の人口静態、動態・その他の統計	【予習】 ①事前資料を読む 【復習】 ①人口静態・動態をまとめる。	予習0.5時間 復習0.5時間
15	最新の人口静態、動態・その他の統計・環境法の小テスト	【予習】 ①事前資料を読む 【復習】 ①小テストの見直し	予習0.5時間 復習0.5時間
使用 テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 健康支援と社会保障制度④ 医学書院		
参考図書	必要時に提示します。		
教員に対する 質問方法	メールアドレス:n_okuda@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認		

授業科目	教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
社会資源コーディネータ論	BNNSB7L25	20406	4前	1(30)	選択
担当教員	井上 深幸	実務歴	有	看護師として病院/診療所に勤務	
概要	<p>地域包括ケアシステムが推進される背景を近年の動向として理解し、地域包括ケアシステムがどのような政策・計画によって推進されているか理解する。次に、地域包括ケアを推進する入退院支援について理解する。具体的に地域包括ケアシステムを理解するために高齢者支援論、在宅看護論、社会福祉等で学んだ社会資源の知識をもとに、主体的に身近な地域包括ケアシステムについて理解を深める。また、近年の継続看護の考え方についても理解を深め、これからの看護師に求められる役割について考察する。これらの学修を通して、外部環境を含めた全人的に人を理解する能力及び適切な看護実践ができる能力を高める。</p>				
到達目標	<p>1) 地域包括ケアを推進する入退院支援制度について説明できる。 2) 地域包括ケア時代の継続看護の考え方と看護職の役割について説明できる。 3) 療養生活を支える社会資源を適切に選択できる。 4) 社会資源の知識をもとに身近な地域包括ケアシステムについて説明できる。</p>				
関連科目	高齢者支援論、在宅看護論、社会福祉				
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価		評価に対するフィードバック方法
	定期試験	60%	1)10% 2)30% 3)20%		定期試験後のレビューで説明
	プレゼンテーション	40%	4)40%		授業内でフィードバック
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力
	科学的論理的思考力		全人的人間理解	○	職業倫理と人権擁護
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践 ◎
回	学修内容		予習・復習内容		取組時間
1	社会の動向と看護師に求められること		復: 地域包括ケアシステムについて		1時間
2	医療計画と地域医療構想		予復: 医療介護総合確保推進法		予習0.5時間 復習0.5時間
3	医療介護総合確保推進法		予復: 医療計画		予習0.5時間 復習0.5時間
4	入退院支援の動向		予復: 入退院支援の動向		予習0.5時間 復習0.5時間
5	入退院支援のしくみ		予: 入退院支援の動向 復: 退院支援における看護師の役割 p3-4		予習0.5時間 復習0.5時間
6	地域包括ケア時代の継続看護		予: 継続看護とは 復: 継続看護の概念の理解		予習0.5時間 復習0.5時間
7	地域包括ケア時代の継続看護を支える理論		予: 継続看護とは 復: 継続看護の概念の理解		予習0.5時間 復習0.5時間
8	中核病院を中心とした地域包括ケアシステム		予: 保健・医療・福祉の社会資源 復: 地域包括ケアシステムを描く		予習0.5時間 復習0.5時間
9	中核病院を中心とした地域包括ケアシステム		予: 保健・医療・福祉の社会資源 復: 地域包括ケアシステムを描く		予習0.5時間 復習0.5時間
10	中核病院を中心とした地域包括ケアシステム		予: 地域包括ケアシステムを説明する 復: 事例に沿った社会資源の知識		予習0.5時間 復習0.5時間
11	継続看護マネジメント		予復: 事例に沿った社会資源の知識		予習0.5時間 復習0.5時間
12	継続看護マネジメント		予復: 事例に沿った社会資源の知識		予習0.5時間 復習0.5時間
13	継続看護マネジメント		予復: 事例に沿った社会資源の知識		予習0.5時間 復習0.5時間
14	継続看護マネジメント		予復: 事例に沿った社会資源の知識		予習0.5時間 復習0.5時間
15	まとめ		予復: 到達目標の自己評価		予習0.5時間 復習0.5時間
使用テキスト	長江弘子編(2018) 継続看護マネジメント第2版 医歯薬出版株式会社				
参考図書	適宜紹介する。				
教員に対する質問方法	メールアドレス: m_inoue@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認				

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
臨床実践と看護理論		BNSS7E02	30102	4前	1(30)	必修
担当教員	豊田 久美子	実務歴	有	看護師として病院/診療所に8年勤務		
概要	看護実践、教育、研究で用いられている看護理論を理解し、自己の実習経験を省察するとともに、看護理論との照合・適合・齟齬を考察するなかで、看護理論の看護実践への活用の可能性と限界について思考する。さらに、看護専門職として、看護における理論の重要性について考察する。					
到達目標	1) 臨地で経験した看護実践を想起し、記述することができる。 2) 臨地で経験した看護実践について、看護理論を用いて考察することができる。 3) 看護理論の看護実践への活用と可能性および限界について論じることができる。 4) 看護専門職として、看護における理論の重要性について考察する					
関連科目	看護学原論・看護現象と看護理論・各臨地実習・課題探求Ⅱ					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	事前課題(1~7)	70	到達目標1・2・3	課題提出ごとに講義中にコメント		
	レポート	30	到達目標4	レポート提出後に講評		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	◎
回	学修内容	予習・復習内容			取組時間	
1	ガイダンス 看護学とは 看護理論とは(討議・講義)	予習: シラバスを読む "看護とは・看護理論とは"について、自分の言葉で伝えられるよう準備をする 復習: "看護とは・看護理論とは"について再考			予習0.5時間 復習0.5時間	
2	予習の内容を中心に、臨地実習での体験「患者のニードと充足へのケア」についてのナラティブ(GW)	予習: 「ニードの充足」の臨地体験を記述する(課題1①) 復習: GWを踏まえて課題1②			予習0.5時間 復習0.5時間	
3	ニードに関する看護理論-V.ヘンダーソン、E.ウィーデンバック、K.コルカバ(講義)	予習: ニードに関する看護理論を読み込む 復習: 課題1③			予習0.5時間 復習0.5時間	
4	予習内容を中心に、臨床実習での体験「看護師-患者の人間関係」についてナラティブ(GW)	予習: 「看護師-患者の人間関係」の臨地体験を記述する(課題2①) 復習: GWを踏まえて課題2②			予習0.5時間 復習0.5時間	
5	人間関係に関する看護理論-H.ペプロウ、I.M.キング、I.J.オーランド、J.トラベルビー(講義)	予習: 「看護師-患者の人間関係」に関する看護理論を読み込む 復習: 課題2③			予習0.5時間 復習0.5時間	
6	臨地実習での体験「人間と環境との相互作用」についてナラティブ(GW)	予習: 「人間と環境へのケア」の臨地体験を記述する(課題3①) 復習: 課題3②			予習0.5時間 復習0.5時間	
7	F.ナイチンゲール、M.E.ロジャーズ、I.M.キング、M.E.レヴァイン、S.C.ロイ(講義)	予習: 「看護師-患者の人間関係」に関する看護理論を読み込む 復習: 課題3③			予習0.5時間 復習0.5時間	
8	臨地実習での体験「患者のセルフケア」、「ヘルスプロモーションへのケア」についてナラティブ(GW)	予習: 「患者のセルフケア」の臨地体験を記述する(課題4①) 復習: 課題4②			予習0.5時間 復習0.5時間	
9	D.E.オレム、K.コルカバ、ノラペンダー(講義)	予習: 「患者のセルフケア」の理論を読み込む 復習: 課題4③			予習0.5時間 復習0.5時間	
10	臨地実習での体験「その人らしさ」についてナラティブ(GW)	予習: 「その人らしさへのケア」の臨地体験を記述する(課題5①) 復習: 課題5②			予習0.5時間 復習0.5時間	
11	M.M.レイニンガー、M.ニューマン、M.H.ミシェル、R.R.パース	予習: 「その人らしさへのケア」の理論を読み込む 復習: 課題5③			予習0.5時間 復習0.5時間	

12	臨地実習の体験「看護師の臨床技能の発達・語ること」についてナラティブ(GW)	予習：“臨床で出会った看護師の臨床技能の発達・語ることの意味と学び”を記述する(課題6①) 復習：課題6②	予習0.5時間 復習0.5時間
13	パトリシア・ベナー	予習：“看護師の臨床技能の発達・ナラティブ”の理論を読み込む 復習：課題6③	予習0.5時間 復習0.5時間
14	看護専門職として、看護理論の看護実践への活用と可能性および限界について(GW)	予習：「看護専門職として、看護理論の看護実践への活用と可能性および限界について」記述する課題7① 復習：課題7②	予習0.5時間 復習0.5時間
15	まとめ：看護専門職として、看護理論の看護実践への活用と可能性および限界について(グループ発表)	予習：グループのプレゼンテーション準備 復習：課題7③	予習0.5時間 復習0.5時間
使用テキスト	筒井真優美 編集、(2019)、看護学テキスト 看護理論 看護理論21の理解と実践への応用【改訂第3版】、南江堂		
参考図書	適宜、紹介します		
教員に対する質問方法	メールにて質問下さい。随時回答します。「メールアドレス:k_toyoda@kyotokango.ac.jp」		

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
看護教育論		BNNSS7L11	30201	4前	1(30)	選択
担当教員	◎ 紗坂 由紀		実務歴	有	看護師として病院に3年勤務	
概要	<p>・看護師には、指導者としての役割を担うこと、看護専門職として学習を継続していくことが求められる。本授業では、教育・学習活動を行なうために必要となる成人教育理論や学習の原理、主体性を育む教育・学習方法について学ぶ。</p> <p>本授業では、実際に協同学習法を取り入れながら学修していく。</p> <p>・さらに、日本の看護教育に関連する法律・規則の歴史を俯瞰し、特に看護師および准看護師の教育・資格制度の成立過程を学修する。また、看護教育カリキュラムの変遷と特徴を学修する。これらの学びを通して、看護教育の目標を理解する。</p>					
到達目標	<p>1. 「教えることと学ぶこと」について説明できる</p> <p>1) 成人教育理論、学習の原理を説明できる</p> <p>2) 「マインドマップ」「ラウンド＝ロビン」「特派員」などの教育・学習方法の目的を理解し実践できる</p> <p>3) 「教えることと学ぶこと」について自己の考えを説明できる</p> <p>2. 看護教育の目標を説明できる</p> <p>1) GHQの改革と戦後の教育改革を説明できる</p> <p>2) 保健師・助産師・看護師および准看護師の成立過程を説明できる</p> <p>3) 准看護師制度の現状と問題を説明できる</p> <p>4) 看護教育カリキュラムの変遷と特徴を説明できる</p> <p>5) アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーを策定する意味を説明できる</p>					
関連科目	看護キャリア開発論					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対するの評価	評価に対するフィードバック方法		
	定期試験	60%	到達目標1:30% 到達目標2:30%	定期試験後のレビューで説明		
	事前・事後課題、 授業参画	40%	到達目標1、2:40%	コメントを記述し返却もしくは授業時に説明		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	○	全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	
回	学修内容		予習・復習内容			取組時間
1	ガイダンス あなたが考える「教育と学習」とは① ▶学習方法:「マインドマップ」		*事前課題、事後課題の詳細は講義時に伝える 【予習】シラバスを読む 【復習】講義内容をまとめる			予習0.5時間 復習0.5時間
2	看護教育カリキュラム アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー		【予習】講義資料を読む 【復習】講義内容をまとめる			予習0.5時間 復習0.5時間
3	看護教育カリキュラムの変遷と特徴		【予習】講義資料を読む 【復習】講義内容をまとめる			予習0.5時間 復習0.5時間
4	あなたが考える「教える・指導すること」とは ▶学習方法:「ラウンド＝ロビン」		【予習】講義資料を読む。課題を行なう 【復習】講義・演習内容をまとめる			予習0.5時間 復習0.5時間
5	教育方法のパラダイムの転換としての協同学習		【予習】講義資料を読む 【復習】講義内容をまとめる			予習0.5時間 復習0.5時間
6	成人教育理論:アンドラゴジーとペダゴジー 学習の原理:知識・技能・態度の学習のプロセス、動機づけ理論		【予習】講義資料を読む 【復習】講義内容をまとめる			予習0.5時間 復習0.5時間
7	看護教育制度－近代看護教育の導入		【予習】講義資料を読む 【復習】講義内容をまとめる			予習0.5時間 復習0.5時間
8	看護教育制度－近代看護教育の普及と戦時体制下の看護教育－		【予習】講義資料を読む 【復習】講義内容をまとめる			予習0.5時間 復習0.5時間
9	看護教育制度－第二次世界大戦後の看護教育－「GHQの改革」①		【予習】講義資料を読む。課題を行なう 【復習】講義・演習内容をまとめる			予習0.5時間 復習0.5時間
10	看護教育制度－第二次世界大戦後の看護教育－「GHQの改革」② ▶学習方法:「特派員」		【予習】講義資料を読む 【復習】講義内容をまとめる			予習0.5時間 復習0.5時間
11	看護教育制度－准看護師制度成立過程－		【予習】講義資料を読む 【復習】講義内容をまとめる			予習0.5時間 復習0.5時間
12	看護教育制度－准看護師制度の現状と問題－①		【予習】講義資料を読む。課題を行なう 【復習】講義・演習内容をまとめる			予習0.5時間 復習0.5時間
13	看護教育制度－准看護師制度の現状と問題－② ▶学習方法:「特派員」		【予習】講義資料を読む 【復習】講義内容をまとめる			予習0.5時間 復習0.5時間
14	あなたが考える「教育と学習」とは② ▶学習方法:「マインドマップ」		【予習】講義資料を読む。課題を行なう 【復習】講義・演習内容をまとめる			予習0.5時間 復習0.5時間
15	まとめ		【予習】講義資料を読む 【復習】全15回の内容をまとめる			予習0.5時間 復習0.5時間
使用テキスト	1. ロイノートスクール					
参考図書	1. 杉田暉道(2021):系統看護学講座 別巻 看護史 医学書院。 2. グレック美鈴(2018):看護学テキストNICE 看護教育学－看護を学ぶ自分と向き合う－ 南江堂。 その他は講義時に適宜紹介する					
教員に対する質問方法	メールアドレス:y_ajisaka@kyotokango.ac.jp オフィスマナー:在校生HPを確認					

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
看護管理・経営論		BNNSS7L13	30203	4前	1(30)	必修
担当教員	籠島 政江	実務歴	有	看護管理者 20年 看護継続教育の実務 25年		
概要	看護の対象者に質の高い医療と看護ケアサービスを提供するために、管理は重要な活動である。管理はあらゆる実践の場に存在し、そこに関与する看護者に管理に関する知識や能力が求められる。質の高い看護ケアを提供するために、医療の提供に関する制度、医療福祉施設に機能、そこでの看護管理について役割について学び、看護実践者としての自覚を高める。					
到達目標	1) 現在の保健医療福祉サービスの現状を理解し、看護管理に求められる機能を論じることができる。 2) 看護の質と看護管理の関連を説明できる。 3) 看護管理者の行う組織マネジメントについて説明できる。 4) 看護の質を高めるための組織変革の必要性を説明できる。 5) 看護の対象者に医療サービスを行う多様な人々との協働とコミュニケーションについて説明できる。 6) 病院等医療施設の効果的な運用に必要な看護と経営の視点について説明できる。					
関連科目	臨床実践と看護理論、看護教育論、医療安全、看護キャリア開発論、災害看護論、総合実習					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	レポート	80%	看護と管理について記述	レポートにコメント記載し、返却		
	授業参画	10%	演習への貢献 牽引・支援			
	小テスト	10%	授業を受けての考察	コメントを記載し、返却		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	○
回	学修内容		予習・復習内容			取組時間
1	第二次世界大戦後の医療と看護の発展		(予習)社会の動向と看護の変遷			1時間
2	看護管理とは		(復習)看護管理の基本について確認する			1時間
3	看護サービスのマネジメント(1)		(復習)看護サービスについて確認する			1時間
4	看護サービスのマネジメント(2-i) 人・モノ・情報・コスト・人材		(復習)看護サービスの対象について確認する			1時間
5	看護サービスのマネジメント(2-ii) 人・モノ・情報・コスト・人材		(復習)マネジメントの対象と内容について確認する			1時間
6	看護サービスのマネジメント(3) 看護情報システム		(復習)看護情報の管理の重要性を確認する			1時間
7	看護の質とその評価と保証		(復習)看護の質の視点と評価内容を確認する			1時間
8	看護の質とその保証 安全管理		(復習)「医療安全」の背景と発展を確認する			1時間
9	看護の対象と安全管理		(復習)看護職に「安全管理」の責務を確認する			1時間
10	看護の質とその保証 看護提供システム		(復習)安全管理のための仕組み作りを確認する			1時間
11	医療の質 医療職と協働・連携とマネジメント		(復習)職種間の連携とそのマネジメントの要素を確認する			1時間
12	看護管理とリーダーシップ		(復習)集団に働きかけるリーダーシップについて確認する			1時間
13	リーダーシップとメンバーシップ 社会科学と理論		(復習)組織を円滑に運営するリーダーシップについて確認する			1時間
14	医療における経営と看護管理		(復習)病院等の経営と看護の視点で経営を考える			1時間
15	看護の質と看護管理		(復習)看護の質と看護管理の関係を考える			1時間
使用テキスト	吉田千文他編 ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践(1) MCメデイカ出版 適宜 参考資料配布					
参考図書	適宜 紹介					
教員に対する質問方法	メールアドレス:m_kagoshima@kyotokango.ac.jp オフィスアワー: 在校生HPを確認					

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
看護キャリア開発論		BNNSS8L14	30204	4後	1(30)	必修
担当教員	籠島 政江	実務歴	有	看護管理者 20年 看護継続教育の実務 25年		
概要	職業人として自立的にキャリア開発をすることの重要性を学ぶ。 看護職として、自身の将来のキャリア発展について考える。					
到達目標	1)「職業とキャリア」について説明できる。 2) キャリア発達について述べるができる。 3) 看護専門職のキャリア発達の意義について述べるができる。 4) 看護専門職として自己のキャリアの方向性について述べるができる。					
関連科目	看護教育論、看護管理・経営論、医療安全、災害看護論、国際看護論、総合実習					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対しての評価		評価に対するフィードバック方法	
	レポート	80%	提示したkey wordsを用いて看護職と自身のキャリアについて記述する		レポートにコメント記載し、返却	
	授業参画	10%	演習への貢献、牽引・支援			
	小テスト	10%	授業を受けての考察		コメントを記載し、返却	
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	
回	学修内容		予習・復習内容			取組時間
1	「キャリア」とは		(復習)キャリアとは何かについて考える			1時間
2	職業とキャリア開発		(復習)職業とキャリアの関係について考える			1時間
3	組織社会化とそのプロセス		(復習)組織社会化について考える			1時間
4	職業生活とモチベーション		(予習)モチベーションについて考える			1時間
5	自立的なキャリア開発とは		(復習)自立的なキャリア開発とはどういうことか考える			1時間
6	「キャリアアンカー」について		(予習)キャリアアンカーについて調べる (復習)自己のキャリアアンカーについて考える			1時間
7	組織の行うキャリア開発		(予習)自分が就職する施設のキャリア開発プログラムを確認する			1時間
8	看護専門職のキャリア開発プログラム(1)		(予習)看護専門職のキャリアについて資料を読む			1時間
9	看護専門職のキャリア開発プログラム(2)		(復習)看護専門職のキャリアの多様性について考える			1時間
10	新人看護師とキャリア開発(1)		(予習)厚生労働省「新人看護師研修ガイドライン」を読む			1時間
11	新人看護師とキャリア開発(2)		(予習)自分が就職する施設の新人看護師研修プログラムを確認する			1時間
12	専門的な看護実践能力の開発		(予習・復習)専門看護師・認定看護師・特定行為研修制度について資料を読む			1時間
13	看護師のキャリア開発とレジリエンス(1)		(予習)レジリエンスについて資料を読む			1時間
14	看護師のキャリア開発とレジリエンス(2)		(復習)自己のレジリエンスについて振り返る			1時間
15	自己のキャリアデザイン		(復習)自己のキャリアデザインについて考える			1時間
使用テキスト	テキストはなし。資料を配布する。					
参考図書	適時、図書・資料を紹介 厚生労働省「新人看護師研修ガイドライン」 公益社団法人 日本看護協会HP「資格認定制度」 厚生労働省HP「特定行為に係る看護師の研修制度」					
教員に対する質問方法	メールアドレス:m_kagoshima@kyotokango.ac.jp オフィスアワー:在校生HPを確認					

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
医療安全		BNNSS7L15	30205	4前	1(30)	必修
担当教員	吉田 乃里子	実務歴	有	看護師として病院に10年看護部長として5年勤務		
概要	医療安全の現状から 医療管理に関する基本的知識や組織的取り組み までを幅広く学習する。安全管理の意義や医療事故の定義などとともに 看護師の役割 を学ぶ。また、実践的に医療安全を学ぶために看護実践上で起こりうる事象を分析し、討議することで リスク感性の育成 を行う。組織的取り組みについては、 医療安全上求められるチーム医療のありかた について学習する。					
到達目標	1. 医療安全を学ぶことの重要性を説明できる。 2. 看護職の法的規定と医療安全について述べるができる。 3. 人間のエラー発生防止としてのKYTトレーニングで危険な箇所を述べるができる。 4. 看護業務における事故と安全対策を挙げることができる。 5. 組織的な医療安全体制の必要性と取り組みについて述べるができる。					
関連科目	看護教育論、看護管理・経営論、看護キャリア開発論、災害看護論、国際看護論、総合実習					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価		評価に対するフィードバック方法	
	定期試験	70%	1.10%	2.10%	3.10%	定期試験後のレビューで説明
	レポート	30%	1.10%	3.10%	4.10%	コメントを記述し返却
DPとの対応	智をいっくしむ力		人をいっくしむ力		命をいっくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	○
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	科目ガイダンス 医療事故とヒューマンエラー	医療安全を学ぶことの意義 看護における事故防止		実習中に遭遇したアクシデント、医療事故ニュースについて振り返っておく		1時間
2	看護師に求められる医療安全の知識・心構え 看護職の法的規定と医療安全		保健師助産師看護師方について(予習) ヒューマンエラーを起こすメカニズムについて(復習)			1時間
3	看護における業務特性と医療事故 診療の補助業務1 RCA(根本原因分析)について		診療の補助業務における事故事例を調べる(予習) 授業で用いた事例の分析方法について理解する(復習)			1時間
4	看護における業務特性と医療事故 診療の補助業務 2 注射業務・注射業務に用いる機器・輸血業務		医学書院のテキスト(以下、テキスト)に目を通し学習内容を理解する(予習)			1時間
5	診療の補助業務 3 内服と薬業務・経管栄養(注入)業務・チューブ管理		テキストに目を通し学習内容を理解する(予習)			1時間
6	診療の補助業務における医療事故事例の要因分析4 GW		事故事例の要因分析をし安全対策を立案。プレゼン資料の作成(予習・復習)			1時間
7	診療の補助業務における医療事故事例の要因分析5 GW発表		効果的な発表を時間内にできるよう準備をする(予習) 事例のふりかえりと自己の課題の明確化(復習)			1時間
8	医療安全とコミュニケーション 看護師の労働安全衛生上の事故防止		有護師の労働安全衛生上の事故事例について調べる(予習) 安全を担保するためのコミュニケーションについて自己の課題を明確にする(復習)			1時間
9	看護事故の構造とリスクマネジメント インシデントの分析 KYTトレーニングについて		自己の生活環境の中で危険と思われる場所を探す(予習) 療養上の事故事例について調べ分析する(復習)			1時間
10	療養上の世話における事故と安全対策 1 転倒・転落事故の防止、摂食中の窒息・誤嚥事故防止 入浴中の事故防止		テキストに目を通し学習内容を理解する。 実習中に遭遇したヒヤリ・ハットについて振り返っておく(予習)			1時間
11	療養上の世話における事故と安全対策 2 GW		療養上の事故事例と安全対策についての プレゼン資料作成(予習・復習)			1時間
12	療養上の世話における事故と安全対策 3 GW発表		効果的な発表を時間内にできるよう準備をする(予習) 事例のふりかえりと自己の課題の明確化(復習)			1時間
13	療養上の世話における事故と安全対策 4 GW発表		効果的な発表を時間内にできるよう準備をする(予習) 事例のふりかえりと自己の課題の明確化(復習)			1時間
14	業務領域を超えて共通する間違いと発生要因 組織的な安全管理体制への取り組み		テキストに目を通し学習内容を理解する(予習・復習)			1時間

15	医療安全対策の国内の潮流と国際的連携	授業全体を復習し主要な点とわからない箇所を明確にする	1時間
使用テキスト	川村治子 2021年, 系統看護学講座 統合分野 医療安全 看護の統合と実践, 医学書院		
参考図書	川村治子 2020年, 医療安全ワークブック第4版, 医学書院 石川雅彦 2018年, RCA実践マニュアル第2版, 医学書院 その他 適宜紹介		
教員に対する質問方法	メールアドレス:n_yoshida@kyotokango.ac.jp オフィスアワー: 在校生HPを確認		

授業科目	教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
災害看護論	BNNSS7L16	30206	4前	1(30)	必修
担当教員	◎田口 豊恵	実務歴	有	看護師として病院に13年勤務	
担当教員	三林 聖司	実務歴	有	准看護師・看護師として病院に22年勤務	
担当教員	籠島 政江	実務歴	有	看護師として病院に39年勤務	
担当教員	木下まゆみ	実務歴	有	看護師として病院に12年7か月勤務	
概要	災害看護の歴史や基礎知識 について理解を深める。 近年、国内で発生した災害を取り上げて、 災害サイクルおよび被災者特性に応じた災害看護の展開 の在り方について学ぶ。				
到達目標	1. 災害看護の歩み、災害医療の基礎知識と特徴について説明できる。 2. 災害看護の基礎知識について説明できる。 3. 災害サイクル各期における特徴と健康問題について説明できる。 4. 被災者特性に応じた災害看護の展開と看護師の役割について説明できる。 5. 病院における防災・減災について説明できる。				
関連科目	クリティカルケア論、疾病と治療ⅠⅡ、母性看護学、精神看護学、高齢者支援論				
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対するの評価		評価に対するフィードバック方法
	定期試験	100%	到達目標1-2-5:各10% 到達目標3-4:各35%		定期試験後のレビューで説明する
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解		○
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		○
				職業倫理と人権擁護	○
				適切な看護実践	
回	学修内容		予習内容(時間内確認)・ 復習内容(時間内または次時間確認、補足)		取組時間
1	講義ガイダンス、災害看護学を学ぶ意義と災害看護の歩み		【予習】p2-16 読む 【復習】授業を振り返り、資料に加筆する		1時間
2	災害医療の基礎知識①災害の定義、災害の種類と健康障害、災害医療の特徴		【予習】最近起こった災害の情報収集をしてくる 【復習】事例をまとめる		1時間
3	災害医療の基礎知識②災害と情報、職種・組織間連携、災害看護と法律		【予習】p21-56を読む 【復習】国内の救護活動と課題についてまとめる		1時間
4	災害看護の基礎知識		【予習】p78-99を読む 【復習】1-3講についての確認問題を解く		1時間
5	災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護:急性期・亜急性期		【予習】p101-119を読む 【復習】課題の事例をまとめる		1時間
6	災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護:慢性期・復興期		【予習】p121-131を読む 【復習】講義中に指示する		1時間
7	災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護:静穏期		【予習】教科書P133-142を読む 【復習】提示した課題をまとめる		1時間
8	被災者特性に応じた災害看護の展開①高齢者・障がい者に対する災害看護		【予習】教科書P155-160を読む 【復習】提示した課題をまとめる		1時間
9	被災者特性に応じた災害看護の展開②子どもに対する災害看護		【予習】教科書P143-148を読む 【復習】提示した課題をまとめる		1時間
10	被災者特性に応じた災害看護の展開③妊産婦に対する災害看護		【予習】教科書P148-151, 参考資料を読む 【復習】提示した課題をまとめる		1時間
11	災害看護の実際:日本赤十字社の活動①		【予習】講義中に指示する 【復習】講義中に指示する		1時間
12	災害看護の実際:日本赤十字社の活動②		【予習】講義中に指示する 【復習】講義中に指示する		1時間
13	災害時に多い健康障害、特有の疾病、トリアージについて		【予習】講義中に指示する 【復習】講義中に指示する		1時間
14	病院における防災・減災		【予習】講義中に指示する 【復習】講義中に指示する		1時間
15	まとめ		【予習】講義全体の復習をする 【復習】重要ポイントを整理する		1時間
使用テキスト	竹久喜久子・小原真理子(2019)『系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学』医学書院				
参考図書	講義中に提示する				
教員に対する質問方法	常勤:メールアドレス:田口豊恵 t_taguchi@kyotokango.ac.jp 三林聖司 s_mitsubayashi@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認 非常勤:木下まゆみ先生 教務部アドレス(教務部:kyoumubu@kyotokango.ac.jp)				

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
災害看護技術演習		BNSS8E17	30207	4後	1(30)	選択
担当教員	◎田口 豊恵	実務歴	有	看護師として病院に13年勤務		
担当教員	三林 聖司	実務歴	有	准看護師・看護師として病院に22年勤務		
担当教員	籠島 政江	実務歴	有	看護師として39年病院に勤務		
担当教員	木下 まゆみ	実務歴	有	看護師として病院に12年7か月勤務		
概要	災害看護論で学んだ基本的な知識をもとに、 災害を想定したシミュレーションや演習等 を行い、災害時に求められる対応や看護について考察する。看護の専門知識を統合し、 各災害サイクルに求められる看護や、要支援者への対応 についても理解を深める。また実際に 災害現場で活動した看護師の体験 を通して、 被災者や要支援者の思いに触れ看護の視野を広げる。					
到達目標	1. 日常生活における災害対策について考えることができる。 2. 被災者特性に応じた看護について説明できる。 3. 災害急性期に必要なトリアージや応急処置を習得できる。 4. 避難所における状況をアセスメントし、必要な看護を考えることができる。 5. DMATの活動内容について説明できる。 6. 被災者・救援者のストレスとこころのケアについて説明できる。					
関連科目	クリティカルケア論、3年生実習科目					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価		評価に対するフィードバック方法	
	事後課題	40%	到達目標1, 4, 5, 6:各10%		授業時に解説、レポートについてはコメントをいれて返却する	
	レポート	60%	到達目標2:40% 到達目標3:20%			
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	○	全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	◎
回	学修内容			予習内容(時間内確認)・ 復習内容(時間内または次時間確認、補足)	復	取組時間
1	ガイダンス、日常生活における防災について考える			【予習】p165-188を読んでおく 【復習】授業資料、教科書で復習		1時間
2	大学で地震が起こったら？ 避難経路と対策を考える			【予習】p165-188を読んでおく 【復習】授業資料、教科書で復習		1時間
3	子どもに対する災害看護			【予習】p143-148を読んでおく 【復習】授業資料、教科書で復習		1時間
4	妊産婦に対する災害看護			【予習】p148-151を読んでおく 【復習】授業資料、教科書で復習		1時間
5	高齢者に対する災害看護			【予習】p151-154を読んでおく 【復習】授業資料、教科書で復習		1時間
6	精神障がい者に対する災害看護			【予習】p156-160を読んでおく 【復習】授業資料、教科書で復習		1時間
7	避難所シミュレーション:急性・亜急性期			【予習】p193-220を読んでおく 【復習】授業資料、教科書で復習		1時間
8	避難所シミュレーション:慢性期・復興期			【予習】p220-228を読んでおく 【復習】授業資料、教科書で復習		1時間
9	災害急性期に必要なとされる看護技術:①応急処置、包帯法			【予習】巻末 付録 応急処置、搬送法の動画を2回以上視聴しておく 【復習】授業資料、教科書で復習		1時間
10	災害急性期に必要なとされる看護技術:②搬送法			【予習】巻末 付録 応急処置、搬送法の動画を2回以上視聴しておく 【復習】授業資料、教科書で復習		1時間
11	災害急性期に必要なとされる看護技術:③トリアージ			【予習】配布事例について調べる 【復習】授業資料、教科書で復習		1時間
12	災害発生現場を想定した救援活動:模擬傷病者に対するトリアージ			【予習】配布事例について調べる 【復習】授業資料、教科書で復習		1時間
13	災害急性期における看護活動:DMATの活動・演習(ゲストスピーカー)			【予習】p35-51を読んでおく 【復習】授業資料で復習		1時間
14	災害とこころのケア:救援者のストレスとこころのケア			【予習】p171-188を読んでおく 【復習】授業資料、教科書で復習		1時間
15	まとめ			【予習】1~14講の復習 【復習】授業資料、教科書で復習		1時間

使用 テキスト	浦田喜久子・小原真理子(2019)『系統的看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学』医学書院
参考図書	授業中に紹介する
教員に対する 質問方法	常勤:メールアドレス:田口豊恵 t_taguchi@kyotokango.ac.jp、三林聖司 s_mitsubayashi@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認 非常勤:木下まゆみ先生 (教務部:kyoumubu@kyotokango.ac.jp)

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
国際看護論		BNNSS7L18	30208	4前	1(30)	必修
担当教員	磯邊厚子	実務歴	有	看護師として国際看護に10年		
概要	国境を越えた グローバルな健康課題 、身近な 在日外国人医療 への対応など、 国際的視野 をもって看護を行うことが必要になった。さまざまな国の人々の生活や健康状況を理解し、看護職にどのような役割が求められているか、国際協力の仕組みや国際機関、民間団体の 国際協力活動 の現状を学び、国際支援のあり方を知る。また国内の 看護の国際化 に目を向けながら、課題と展望を考察していく。					
到達目標	1. 看護を実践する上で国際的な視野をもつことの必要性を述べることができる。 2. 世界規模の健康課題に対する基本概念を説明できる。 3. 国際協力の仕組みと看護の役割を説明できる。 4. 多様な社会・文化的背景を持つ対象への看護のあり方を説明できる。					
関連科目	公衆衛生看護学、栄養学、保健統計学、異文化コミュニケーション論、情報リテラシー、災害看護論、社会福祉、基礎英語・中級英語コミュニケーション、医学・看護英語リーディング、看護キャリア開発論					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	定期試験	60%	到達目標1-10% 到達目標2-10% 到達目標3-20% 到達目標4-20%	1) 定期試験後のレビューで説明		
	課題 授業への参加	40%	到達目標1-5% 到達目標2-10% 到達目標3.4-25% (中間課題15%、事後課題10%)	2) レポート:コメントを記述し返却 3) 小テスト:次回授業時に解説		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	○	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	◎
回	学修内容	予習・復習内容				取組時間
1	先進国及び途上国の健康課題と保健システム	【予習】p.58～69、142～161を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う				予習0.5時間 復習0.5時間
2	看護に影響を与える要因－歴史、政策・経済、社会・文化、教	【予習】p.14～26を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う				予習0.5時間 復習0.5時間
3	国際協力に用いられる調査法－量的・質的調査	【予習】p.124～127を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う				予習0.5時間 復習0.5時間
4	地域看護活動－プライマリ・ヘルスケア、住民参加型アプロー	【予習】p.128～130、.172～182を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う				予習0.5時間 復習0.5時間
5	病院看護活動－施設管理、教育、人材育成	【予習】p.90～94、131～135、148～151を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う				予習0.5時間 復習0.5時間
6	難民・災害看護活動－国際緊急援助隊(JDR)	【予習】p.70～74、102、162～171を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う				予習0.5時間 復習0.5時間
7	難民支援:UNHCRの活動－熱い心と冷たい頭をもて	【予習】p.71、102、162～166を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う				予習0.5時間 復習0.5時間
8	NGOの活動－不安より希望を－いのちの対話	【予習】p.75～78、254～260を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う				予習0.5時間 復習0.5時間
9	在日・訪日外国人への看護①－外国人の医療と福祉	【予習】p.25、101～106、208～215を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う				予習0.5時間 復習0.5時間
10	在日・訪日外国人への看護②－外国人患者への援助スキル	【予習】p.101～106、208～215、216～221を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う				予習0.5時間 復習0.5時間
11	事例GW:K国の乳幼児死亡率を減少するには?	【予習】p.157～161、209、210、213を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う				予習0.5時間 復習0.5時間
12	事例GW:外国人の受け持ち患者への対応は?	【予習】p.101～106、208～215を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う				予習0.5時間 復習0.5時間
13	各GW発表とまとめ	【予習】事前に示された資料を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う				予習0.5時間 復習0.5時間
14	外国で看護活動をするために(資格取得)	【予習】p.224～238を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う				予習0.5時間 復習0.5時間
15	外国で看護活動をするために(国連・JICA・NGO)	【予習】p.107～121、216～221、239～260を講義前に読む 【復習】授業で提示された課題を行う				予習0.5時間 復習0.5時間

使用 テキスト	森淑江他編集. 国際看護:国際社会の中で看護の力を発揮するために. 南江堂(最新版)
参考図書	1.国際看護交流協会(2010). NURSING IN THE WORLD 5th. 2.UNDP 人間開発報告書(全年) 3.M. レイニンガー 石井邦子訳(1995).レイニンガー看護論—文化ケアの多様性と普遍性. 医学書院. 4.JOCV看護職ネットワーク(2003).世界を翔けたナースたち.社団法人青年海外協力協会 5.A.McElroy 丸井英二訳(1995). 医療人類学.大修館書店. 他. 随時紹介する.
教員に対する 質問方法	常勤:メールアドレス:a_jsobe@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
看護技術強化演習		BNNSS8E19	30209	4後	1(45)	必修
担当教員	統括: 久留島 実姫 井上 深幸(看護師として病院/診療所に16年勤務)、田口 豊恵(看護師として病院に13年勤務) 吉田 えり()、久留島 実姫(看護師として病院に5年勤務) 堀井 理司(看護師として病院に3年勤務) 田村 葉子(看護師として病院に10年勤務)、三林 聖司(准看護師・看護師として病院に22年勤務) 鯉坂 由紀(看護師として病院に3年勤務)、中森 美季(看護師として病院に5年勤務) 前原 なおみ(看護師として病院/訪問看護ステーションに12年勤務)、伊東 美佳() 吉田 乃里子()、 宇田 雅(看護師として病院に17年勤務)、和田恵美子(看護師として病院/訪問看護ステーションに14年勤務) 林 里沙子(助産師として病院/診療所に6年勤務)、清水 史恵() 高橋 康子(看護師として病院/診療所/保健センターで4年勤務) 山本 典孝(看護師として病院に16年、診療所に1年勤務)、岡本杏華(看護師として病院に7年勤務) 大庭 かおり(助産師として病院に5年・看護師として病院に5年勤務)、井上 貴子(看護師として病院に5年勤務) 内田 浩江()、橋本 周子()、門田 典子()					
概要	看護専門職があらゆる看護場面において行う 安全な看護実践 には、的確な 臨床推論、臨床判断と対象に適した看護技術 を用いた直接援助が必要である。 本科目では、1年次からの学修を統合し、適応的に活用することを目指し、シナリオに基づいたシミュレーションによる臨床推論、臨床判断、そして適切な看護技術を用いた援助を実施する。					
到達目標	シナリオ(紙上患者)に対して以下のことができる 1. 状態変化を予測し、述べることができる。 2. 観察から状態を判断することができる。 3. 状況に応じた看護援助を判断することができる。 4. 変化がない場合の「予定された看護援助」を立案できる。 5. 「予定された看護援助」を実施できる。 6. 実施した援助を振り返ることができる。					
関連科目	3年生実習科目					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	定期試験	45%	目標1・2・3-45%	レビュー		
	技術の到達度の確認	30%	目標5-30%	レビュー		
	事前・事後課題	25%	目標1・2・3・4・6-25%	授業内・Teams		
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践	◎
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	【授業計画】 本科目の講義は、事前学修、グループ学修、個人学修、事後学修で構成する。 1. 事例等を用いたメンタルシミュレーション 2. 患者に異常がないと判断できた場合の看護援助計画の作成 3. 援助の実施と振り返り			【事前課題】 ①事前に提示された課題を期限内に提出する ②分からない語句等を調べる 【事後課題】 ①提示された課題を期限内に提出する		
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
使用テキスト	適宜紹介する。					
参考図書	適宜紹介する。					
教員に対する質問方法	常勤: Teamsチャット、メールアドレス:m_kurushima@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認					

授業科目	教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択	
課題探求実習	BNNSS7P52	39912	4前	1(45)	必修	
担当教員	吉田 えり、久留島 実姫、磯邊 厚子、堀井 理司、三林 聖司、田村 葉子 鯉坂 由紀、中森 美季、前原 なおみ、伊東 美佳、籠島 政江、吉田 乃里子 宇多 雅、和田 恵美子、林 里沙子、清水 史恵、高橋 康子 山本 典孝、岡本 杏華、井上 貴子、大庭 かおり、内田 浩江、橋本 周子、門田 典子					
概要	少子高齢化多死社会を迎えた日本の医療と看護における現状の課題について理解を深める。 また、3回生の領域別看護学実習および課題探求Ⅰと結合させて考察し、興味・関心のある看護分野において自己の研究課題を明確化し、卒業研究へとつなげる。					
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	○	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	◎

授業科目	教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択	
総合実習	BNNSS7P53	39913	4前	1(45)	必修	
担当教員	◎籠島 政江、吉田 乃里子、宇多 雅、和田 恵美子、高橋 康子、山本 典孝、大庭 かおり、岡本 杏華、他助手					
概要	臨地のリアリティに触れた経験から、これまで学んできた看護専門職としての必要な「智をいつくしむ力」、「人をいつくしむ力」、「命をいつくしむ力」を統合し、医療システムを俯瞰したうえで、これからの看護専門職の役割を考究する。さらに、学生から看護専門職に役割移行をするうえでの課題を自ら設定し、自己研鑽する基本的能力を身につける。					
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	○

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
課題探求 I		BNNRS7L01	40101	4前	1 (15)	必修
担当教員	菅田 勝也	実務歴				
担当教員	井上 深幸	実務歴	有	看護師として病院/診療所に16年勤務		
概要	看護における 研究の必要性とその進め方 について理解を深めるとともに、 研究テーマに取り組むための基礎能力 を養う。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護研究の意義とその必要性について説明できる。 2. クリティークの視点について説明できる。 3. 看護研究の方法と進め方について説明できる。 4. 研究計画書の意義について説明できる。 5. 研究倫理の重要性と倫理的配慮について説明できる。 					
関連科目	3年次 実習科目全て					
成績評価	評価種別	割合(%)	到達目標に対する評価	評価に対するフィードバック方法		
	レポート	100%	到達目標1~5:各20%	レポートにコメントを記載して返却する		
DPとの対応	智をいつくむ力		人をいつくむ力		命をいつくむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	
回	学修内容		予習内容(授業毎に確認)・復習内容			取組時間
1	看護における研究の意義と課題、看護専門職として研究を行う責務		【予習】:自分の興味・関心のあるテーマについて考え、まとめておく 【復習】:テーマの動機・目的について次講に持参する			1時間
2	研究疑問の絞り込みと文献検索の仕方		【予習】:テーマに関する文献を1本印刷して持参する 【復習】:研究疑問について整理し、次講に持参する			予習2時間 復習2時間
3	研究デザインと方法①:量的研究と進め方		【予習】:事前に指示された内容を持参する 【復習】:量的研究について、教科書や授業資料を読み復習する			予習2時間 復習2時間
4	研究デザインと方法②:質的研究と進め方		【予習】:事前に指示された内容を持参する 【復習】:質的研究について、教科書や授業資料を読み復習する			予習2時間 復習2時間
5	文献検討とクリティーク:クリティークポイントに沿って		【予習】:事前に指示された内容を持参する 【復習】:文献1本をクリティークし、指定日に提出する			予習2時間 復習2時間
6	研究計画書の意義と構成		【予習】:事前に指示された内容を持参する 【復習】:時間内に指示する			予習2時間 復習2時間
7	研究計画書例を用いた学修		【予習】:事前に指示された内容を持参する 【復習】:時間内に指示する			予習2時間 復習2時間
8	研究倫理と倫理的配慮:研究倫理申請書の書き方		【予習】:事前に指示された内容を持参する 【復習】:時間内に指示する			予習2時間 復習2時間
使用テキスト	坂下玲子 看護研究 医学書院 2016年					
参考図書	講義中に紹介する					
教員に対する質問方法	メールアドレス:井上 深幸 m_inoue@kyotokango.ac.jp オフィスアワー 在校生HPを確認					

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
課題探求Ⅱ		BNNRS7E02	40102	4通	2(60)	必修
担当教員	教授・准教授・講師・助教で担当する (科目統括:中森美季)					
概要	研究的視点を持って看護を主体的に探求するプロセスを経験し、研究への興味を持ち、研究的態度と看護研究の意義について学ぶ。具体的には、課題探求実習で見出した自らの研究課題についての文献検討、研究計画の立案、研究倫理審査の申請、データ収集、分析・考察、卒業論文執筆、成果発表の一連のプロセスを実際にたどり、看護研究を遂行するための基礎的能力を培う。担当教員の指導のもとに少人数の学生が集い、自主的に研究、発表、討論を行う「ゼミナール(ゼミ)形式」の授業とする。					
到達目標	1)自己が見出した課題を主体的に探究することができる。 2)看護研究の経験を通して一連のプロセスを実践することができる。 3)得られたデータを看護の視点で科学的に分析し、論理的に説明することができる。 4)自己の研究での倫理的配慮の必要性和その内容を具体的に説明することができる。					
成績評価	種別	割合(%)	到達目標に対する評価基準等			
	プロセス	25%	1)15% 2)10%			
	論文	40%	3)4) 40%			
	発表	25%	3)4) 25%			
	最終レポート	10%	1)2)3)4) 10%			
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人の人間理解		職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	
回	学修内容			予習・復習内容		取組時間
1	【授業計画】 担当教員の助言を受けて、一連の研究プロセスをたどる。 1)研究課題の明確化 2)文献検討(文献検索と文献クリティーク) 3)研究計画の立案 4)研究倫理委員会への倫理審査申請 5)データ収集・分析・考察 6)卒業論文の執筆 7)成果の発表(発表会でのプレゼンテーション) *適宜、ゼミ単位で学習会、経過報告会、予演会などを行う。			課題探求Ⅰで扱う研究方法論を十分に学習して自己の研究に取り組むこと。 研究プロセスをスムーズに進めるために長期的な計画を立てるとともに、毎回のゼミの前には十分な準備を行い、自主的に学んでいくこと。		
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
使用テキスト	担当教員の助言に従う。					
参考図書	担当教員の助言に従う。					